

入善漁港(入善町管理・第1種)



- 漁港の所在地 下新川郡入善町芦崎
- 漁港の指定 昭和26年12月13日 農林省告示第447号
- 漁港管理者の指定 昭和29年3月13日 富山県告示第212号
- 沿革

藩政時代から明治時代にかけて、黒部川河口付近に鑓研、荒俣と呼ばれる2つの港が栄えていたが、黒部川の氾濫により、その機能が失われた。その後、昭和26年黒部川右岸に「飯野漁港」として指定を受け、漁港施設の整備を行い、昭和39年に「入善漁港」と漁港名を変更した。第3～5次整備計画から改修事業として防波堤等を整備し、第6～8次整備計画で泊地、係留施設、外郭施設等を整備した。第9次整備計画では、越波、港内静穏度対策として防波堤の整備及び護岸の改良を行った。

平成13年には漁港漁村活性化対策事業により、海洋深層水取得施設が完成し、水産業分野をはじめとして、食品や医療、健康産業等の幅広い分野で活用されている。

平成14年以降の新第1～2次漁港漁場整備長期計画では、漁業集落環境整備事業により集落排水処理施設整備を行った。平成20年には「寄り回り波」と考えられる高波により大きな被害を受けたため、漁港施設機能強化事業により護岸改良を行った。

新第3次長期計画では、水産物供給基盤機能保全事業による岸壁補修等を実施した。